

提携活動

■ Chordia Therapeutics社とライセンス契約締結

2020年12月にChordia Therapeutics株式会社(以下、Chordia社)と、同社の粘膜関連リンパ組織リンパ腫転座1(MALT1)阻害剤であるCTX-177を全世界で独占的に開発、製造および商業化するライセンス契約を締結しました。Chordia社は、2017年11月にがん領域に特化した研究開発型バイオベンチャー企業として設立され、新しい作用機作を有する抗がん薬の研究と開発を行い、革新的な新薬を生み出すことを目指しています。MALT1の活性化は、リンパ球系の血液細胞のがん化に重要であることが報告されており、CTX-177はMALT1の活性を選択的に阻害することにより、リンパ球系の血液腫瘍に対する抗腫瘍効果が期待されます。



Chordia社(©Shonan Health Innovation Park)

■ ライボン社とライセンス契約締結

2021年2月に米国Ribon Therapeutics社(以下、ライボン社)と、同社が開発中のPARP7(ポリADPリボースポリメラーゼ7)阻害剤であるRBN-2397を日本、韓国、台湾およびASEAN諸国で独占的に開発および商業化するライセンス契約を締結しました。ライボン社は、細胞がストレスを受けた際に活性化する酵素を標的にしたファーストインクラスの薬剤を開発するバイオテクノロジー企業で



ライボン社

す。治療選択肢が限られた患者に有効な治療法を届けるべく、独自の創薬プラットフォームであるBEACON⁺を活用して新たな治療薬の開発に取り組んでいます。RBN-2397は、がん細胞の生存にとって重要な役割を果たす分子であるPARP7を阻害することで、腫瘍増殖を直接抑えることに加え、がん細胞に対する免疫応答を高めるという2つのメカニズムを有する新たながん治療薬になることが期待されます。

提携活動

■ ペプチドリーム社とライセンス契約締結

2021年3月にペプチドリーム株式会社(ペプチドリーム社)と、同社独自の創薬開発プラットフォームシステムPDPS(Peptide Discovery Platform System)について、非独占的ライセンス契約を締結しました。ペプチドリーム社は、2006年に設立された特殊環状ペプチドを用いた独創的な創薬開発に取り組んでいるバイオ医薬品企業です。当社は、このPDPS(自動化プラットフォーム)を用いることで新しい創薬標的に対する高親和性ペプチドを迅速に取得し、革新的な新薬を短期間で、かつ高い成功確率で創製することをめざします。



ペプチドリーム社

特許に関するライセンス契約

■ ロシュグループと抗PD-L1抗体関連特許に関するライセンス契約締結

2020年11月に当社および米国ブリistol マイヤーズ スクイブ社(BMS)は、ロシュグループと、ロシュの抗PD-L1抗体であるアテゾリズマブ(テセントリク®)に関する全世界の特許ライセンス契約を締結しました。本契約締結により、ロシュより契約一時金の支払いを受け取りました。また、2020年1月1日~2026年12月31日の期間のアテゾリズマブの全世界における売上に対して、1桁台のロイヤルティを受けとります。なお、契約一時金およびロイヤルティは、当社およびBMSの現行の契約に準じて分配されます。

事業領域の拡大

■ 小野薬品ヘルスケア株式会社の設立

2021年2月にヘルスケア分野での健康食品・機能性表示食品を主な事業とする小野薬品ヘルスケア株式会社を設立しました。病気の前段階の未病や予防領域における様々な社会課題に対して問題解決を図るために、医療用医薬品の研究開発で当社が培ってきた資産を最大限に生かし、健康寿命の延長と持続可能な社会に貢献していきたいと考えています。

■ 米国現地法人(ONO PHARMA USA, INC.)の新オフィス開設

2021年4月に米国現地法人であるONO PHARMA USA, INC.をマサチューセッツ州ケンブリッジに移転し、新オフィスを開設しました。

今回の新オフィスへの移転は、今後の米国での自社販売を見据えた臨床開発から承認申請までを自社で行える体制の整備および創薬提携やライセンス活動の加速を目的としたものです。

マサチューセッツ州ケンブリッジは、マサチューセッツ工科大学(MIT)やハーバード大学など世界トップクラスの大学・研究機関に加え、世界有数の製薬企業およびバイオベンチャー企業の主要な集積地であり、優れた人財の獲得機会が豊富にあります。当社の成長戦略の一つ「欧米自販の実現」に向け、グローバル開発体制の強化と米国自販の準備を進めるのに相応しい都市と考えています。



ONO PHARMA USA, INC.の入居するRiverfront Office Park

オープンイノベーションの強化

■ 米国LabCentralおよびMBC BioLabsとスポンサーシップ契約を締結

2021年2月に、当社はスタートアップバイオベンチャー企業の育成を支援する民間非営利機関であるLabCentral(米国、マサチューセッツ州)およびMBC BioLabs(米国、カリフォルニア州)とスポンサーシップ契約を締結しました。

LabCentralおよびMBC BioLabsは、全世界の多数の製薬企業およびバイオベンチャー企業の主要な集積地であるケンブリッジおよびサンフランシスコ湾地域をそれぞれ拠点として、研究開発や業務推進のための研究・オフィススペースおよび会社運営や創薬技術のノウハウ等をスタートアップバイオベンチャー企業に提供しています。

今回のスポンサーシップにより、当社は、米国の主要バイオテクノロジーの集積地でLabCentralおよびMBC BioLabsの施設に入居するスタートアップバイオベンチャー企業等が持つ最新の情報に早期からアクセスすることが可能になります。また、獲得した最新情報を活用して、オープンイノベーションを推進し、当社の重点領域における研究開発をさらに促進していくことをめざします。

■ 米国カリフォルニア大学創薬コンソーシアムへの参画

2021年3月に、当社はカリフォルニア大学創薬コンソーシアム(米国、カリフォルニア州、以下UC DDC)に参画しました。

UC DDCは、カリフォルニア大学(UC)に加盟する7校(カリフォルニア大学バークレイ校、デービス校、アーバイン校、ロサンゼルス校、リバーサイド校、サンディエゴ校およびサンフランシスコ校)で構成されており、斬新な創薬研究および製薬業界のパートナーとのコラボレーションを通じて、アンメットメディカルニーズを満たす治療法の開発を目的としたUC研究者による研究を促進しています。

今回のコンソーシアムへの参画により、当社はUC DDC加盟7校の早期段階の研究テーマにアプローチすることができます。また、最新の研究アイデアがハイライトされるUC DDC主催の年次シンポジウムや他のイベントを通じて、当社の研究者がUC DDCの研究者コミュニティに参加することができます。当社は、今回の参画により、当社の重点領域における研究開発をさらに促進していきます。

CSR活動

■ DJSI 2020において「DJSI World」および「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄に初選定

2020年11月、当社は世界の代表的なESG(Environment, Social, Governance)投資指標であるDow Jones Sustainability Indices(DJSI)において「DJSI World Index」および「DJSI Asia Pacific Index」の構成銘柄に初

選定されました。DJSIは、米国のS&P Dow Jones社とスイスのRobecoSAM社が共同開発したサステナビリティ株式指数で、企業の経済・環境・社会面の3つの側面から企業活動を分析し、持続可能性(サステナビリティ)に優れた企業が構成銘柄として選定されます。

Member of

**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

■ CDP2020において「気候変動Aリスト」に3年連続で選定

2020年12月、環境分野で世界的に権威のあるCDPより、気候変動に対する対策が評価され、CDP2020「気候変動Aリスト」に3年連続で選定されました。当社は、中長期環境ビジョン(ECO



VISION 2050)のもと、脱炭素社会の実現を重要分野の1つとして定め、事業活動に伴って排出される温室効果ガスの削減に向けて取り組んでいます。今後も革新的な医薬品の創製によって社会に貢献するとともに、取引先と協働しつつ、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

■ 令和2年度「おおさかストップ温暖化賞」大阪府知事賞を受賞

2021年3月、当社の水無瀬研究所は、温暖化防止等の対策において最も優れた取り組みを行った事業者として、大阪府が主催する令和2年度「おおさかストップ温暖化賞」大阪府知事賞を受賞しました。「おおさかストップ温暖化賞」は、「大阪府温暖化の防止等に関する条例」に基づき、事業活動で排出される温室効果ガスや人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化について、他の事業者等の模範となる特に優れた取り組みをした者を表彰するものです。



公式Webサイトリニューアル

2021年1月、当社の公式Webサイトを全面的にリニューアルいたしました。今回のリニューアルでは、ステークホルダーの皆さまにより分かり易くご活用いただけるよう、サイト構成やデザインを一新しました。また、研究開発やライセンス活動のサイトを充実させるとともに、当社をより知っていただくために新しいページ「Ono Story」や「創業300年の歩み」を制作しました。ぜひご覧ください。

当社Webサイト <https://www.ono.co.jp/>



新CM「Only Ono」篇を全国で放映開始

2021年4月より新CMの放映を開始しました。新CMでは、「挑戦」をテーマとし「小野にしかできない挑戦がある(Only Ono)」というメッセージとともに、当社の薬づくりに取り組む真っすぐな姿勢を軽快なリズムにのせて、女優の田畑志真さんの目線で語っています。新薬が世に出るまでには多くの



人の知恵と時間を要します。すべての努力が報われるわけではありませんが、今この瞬間にも薬を待っている人がいる限り、そのわずかな可能性を信じて挑戦し続ける当社の姿勢を表現しています。

これからも小野薬品は、患者さんとご家族、医療従事者の皆さまと共に、病気や苦痛と闘う、誰よりも熱き挑戦者であり続けます。

新型コロナウイルス感染症への対応

生命関連企業である当社は、医薬品の安定供給、治療薬等の研究開発に貢献すべく以下の取り組みを実施しています。また、社員（従業員）とそのご家族の方々、当社関係者の皆さまの安全確保と健康保持、感染拡大の防止を目的に、さまざまな対策を講じております。（2021年5月12日現在^{*}）

1. 医薬品の安定供給について

国内外における、医薬品の生産・供給については、関係会社や取引先とも連携し、安定供給は維持されており、当面の当社医薬品の生産および医療機関への供給体制に問題はありません。

2. 治療薬等の研究開発への貢献について

慢性膵炎および術後逆流性食道炎の治療薬として承認いただいております経口蛋白分解酵素阻害剤「カモスタットメシル酸塩」を用いた新型コロナウイルス感染症患者さんを対象とした第Ⅲ相試験を実施しています。また、国内外の医療機関・研究機関からの要請に基づき臨床研究用製剤を供給しています。

3. 医療従事者への情報提供活動について

感染拡大の防止を目的に、医療機関への訪問は自粛していましたが、在宅勤務の環境下でも医療従事者への情報提供、医薬品安全性情報の収集が実施できる体制へ移行しています。2020年6月以降は、Webを活用した面会やリモート講演会の企画など、新たな手段も取り入れながら情報提供活動に臨んでいます。

4. 感染拡大防止に向けての取り組み

- ① 医薬品の生産・供給など事業活動に関わる業務を除いて原則在宅勤務としつつ、全国における感染状況を踏まえて全社での出勤率を30%程度となるよう調整しています。
- ② 出社する社員の安全確保のため、検温、マスクの着用、手洗い・アルコール消毒の励行、ソーシャルディスタンスの確保など最大限の感染予防措置を講じています。
- ③ 国内出張が必要となる際は感染予防に努め慎重に対応することとし、海外出張については原則禁止としています。
- ④ 講演会、社内・社外研修等についてはWebを優先することとし、対面が必要となる場合は、ソーシャルディスタンスを確保できるよう参加人数の調整を行うなど、感染防止対策を徹底しています。

^{*}なお、最新の対応状況につきましては、下記サイトに掲載しております。当社公式HP「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する当社の対応について」 <https://www.ono.co.jp/covid-19>